

アプリケーションカタログ 酒類の総酸(遊離酸)

関連業界	:	食品
使用装置	:	電位差自動滴定装置
測定手法	:	酸塩基滴定
関連規格	:	国税庁所定分析法

1. 概要

清酒、合成清酒などの酸は、コハク酸と乳酸を主体とした有機酸類であって、清酒の品質にかかわる酸は、その中で遊離している有機酸の総量です。

清酒の遊離酸の総量測定は、「国税庁所定分析法」の「3清酒、合成清酒・3-5総酸(遊離酸)分析法」に基づいて、水酸化ナトリウム溶液で中和滴定を行います。

電位差滴定法により、pH7.2まで0.1mol/L水酸化ナトリウム溶液で滴定し、その滴定量をコハク酸量に換算して総酸(遊離酸)を求めます。

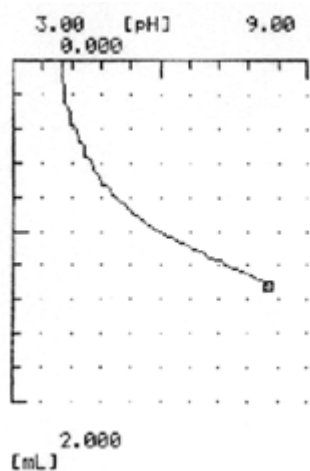
2. 装置構成

本体	:	電位差自動滴定装置(標準プリアンプリアファイア STD-)
電極	:	<input type="checkbox"/> オプション 複合ガラス電極(微量滴定用) <input checked="" type="checkbox"/> 標準付 温度補償電極
オプション	:	微量滴定セルユニット

3. 試薬

滴定液 : 0.1mol/L水酸化ナトリウム溶液 (f=1.000)

4. 測定例



—滴定曲線—

詳細は、下記までお気軽にお問い合わせください。

<問い合わせ先> 京都電子工業株式会社

<http://www.kyoto-kem.com/ja/contact/form.php>

—測定結果—

	Sample (mL)	Titration (mL)	Acidity	Succinic Acid (g/100mL)
1	10.0	1.3243	1.3243	0.0781
2	10.0	1.3177	1.3177	0.0777
3	10.0	1.3230	1.3230	0.0781
Average			1.3217	0.0780
S.D.			0.0035	0.0002
R.S.D.			0.26	0.30